

## 手取川昭和9年水害記録誌に関する 感謝状贈呈式及びCD寄贈式

～作成にご協力をいただいた方々への感謝状贈呈と小学校への寄贈式を行います～

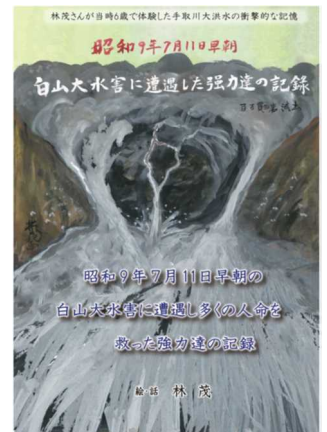
今から84年前の昭和9年7月11日、手取川では大水害が発生しました。

再び巡ってきた7月11日を迎えるにあたり、後世にその日のことを伝えていくための記録誌を今回作成しました。

この作成にご協力いただいた方々へ感謝状を贈呈するとともに、あわせて手取川沿川地域5市町内の小学校に、総合学習など防災教育の活用いただくものとして、記録誌のデータをCDにて寄贈します。

地域の方々にも「7月11日」を知っていただければと考え、その前日の7月10日に贈呈式及び寄贈式を行います。

1. 日 時 : 平成30年 7月10日(火)  
14:00～14:30
2. 場 所 : 金沢河川国道事務所 会議室(2階)  
(金沢市西念4丁目23番5号)
3. 次 第 : 開会及び趣旨説明  
感謝状の贈呈  
・ 林 茂  
・ NPO法人 白峰まちづくり協議会  
記録誌CDの寄贈  
・ 白山市教育委員会  
・ 能美市教育委員会  
・ 川北町教育委員会  
・ 野々市市教育委員会  
・ 小松市教育委員会  
(上記5市町内の小学校 計61校分)



金沢河川国道事務所  
ホームページ



### お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所  
流域対策課長 中山 兼一 076-264-9913 (流域対策課 直通)

※番号通知設定でお掛けください

記録誌作成の趣旨

- ・今から84年前の昭和9年7月11日、手取川では大水害が発生
- ・しかしながら、当時のことを知る人は少なくなり、後世に伝えていくことが難しい状況
- ・一方、水害に限らず、地震や津波など自然災害は様々な形で、いつ自身に降りかかってくるかわからないもの。
- ・このような災害に備えていく、あるいは防災に対して意識を高めていくには、身近にあった出来事を実際に体験した人から直接受け継いでいくことが大切（効果的）
- ・特に、子供たちが過去の歴史を学ぶなかで、家庭や周囲と「防災について語る」きっかけづくりが出来れば、それが地域全体での防災力向上につながるものと期待

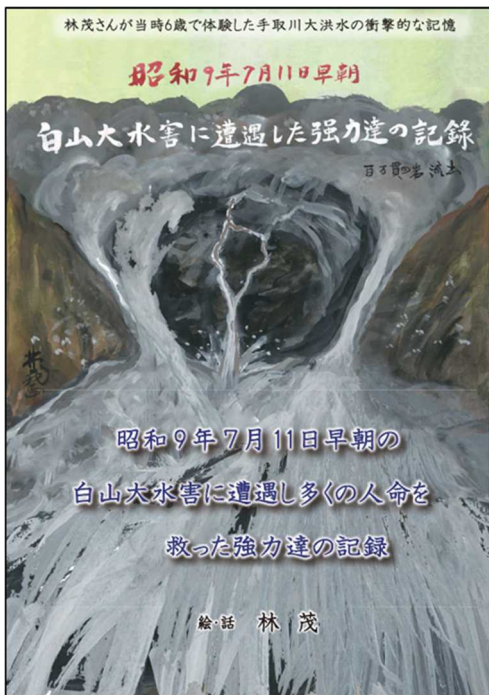
昭和9年7月11日手取川大水害の内容

- ・死者97名、行方不明15名、負傷者35名
- ・埋没耕地2,113町歩、流出耕地695町歩
- ・家屋流出172戸、倒壊65戸、流出建物（住居以外のもの）160棟、床上浸水家屋586棟
- ・別当谷で大崩壊発生

贈呈するCD



記録誌の表紙と内容の一部



そのつらさ、難関をたまたたいて登りつめて来る音がしました。  
 山手の窓に向かって走ったので、強風が二人も流石し  
 場の屋根に飛び出しました。

一方、赤岩地区では、目の前の新川の激しい流れ、  
 数日前から絶えず見て驚かし、山手の背戸を離れて  
 逃げる準備をしていました。この難関が流される  
 時に、煙突の様な音が家族内に入り、障子や板戸を  
 なぎ倒し、これが逃げ出す時のタイミングとなりました。  
 ですから家屋は流されましたが、人命は一人  
 もたわれませんでした。